

2023年(令和5年)7月22日(土曜日)

# 富士ニュース

## J A 資材館 マスマス元肥を販売 高校会議所が効果アピール

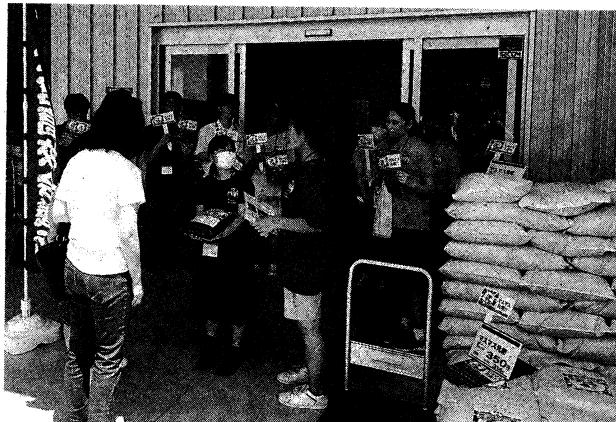
富士宮市外神のJAふじ伊豆ふじのみや資材館はこのほど、富士宮高校会議所が開発した堆肥「マスマス元肥（げんび）」の販売を開始し、それに合わせてメンバーラが販売を手伝つた。

マスマス元肥は市の魚ニジマスの加工残渣（ざんき）が有料で産業廃棄物処理されてい状況を知り、有効活用の方法を考え、朝霧高原の牛ふんと混ぜて、花・実な

堆肥化した。同会議所は「マスマス元肥を使って富士宮をマスマス元気にしよう」を合言葉に、SDGs実践として普及・活用を図る中で販路を広げた。

販売の手伝いでは、入り口に山積みされたマスマス元肥の前に多数のメンバーが立ち、来店者に取り組みをアピールした。「ニジマスの残渣が半分を占めることから、通常の堆肥と比べて、花・実などに有効なリノ酸分が4倍」「アミノ酸が多く含まれ、野菜・草花の関心を集め、多くの効果も説明し、多くの影響を与える」など

い影響を与える」との効果も説明し、多くの関心を集めた。メンバーは、「消費者の皆さんと直接触れ合うことができて大変勉強になつた」と話した。



マスマス元肥の販売を手伝う（提供写真）